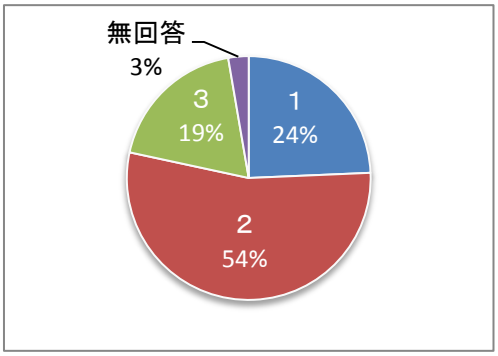
平成27年８月24日実施　出雲崎町総合防災訓練住民参加者アンケート　結果

配布43名　　回収37名　　回収率86%

①　あなたの（世帯）状況についてお聞かせください。

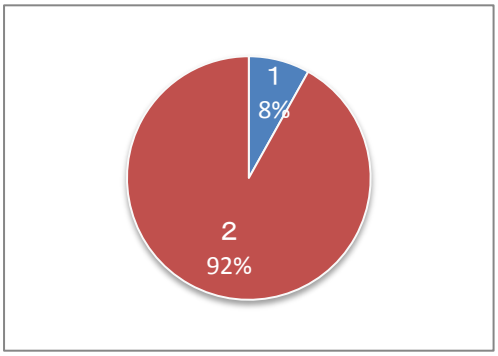
問１　あなたは、原子力災害対応ガイドブックをご覧になったことがありますか？（ひとつに〇）

解答欄	回答数
１．全部見た	9
２．一部見た	20
３．まったく見たことがない	7
無回答	1



問２　あなたの世帯は、車を使用していないですか？（ひとつに〇）

解答欄	回答数
１．はい	3
２．いいえ	34



問３　（問２で「はい」と答えた場合のみ）あなたは、広域避難指示が発令されたとき、近くの親戚や近隣住民などの中で、一緒の車に乗せていってもらえる人が事前に決まっていますか？（ひとつに〇）

解答欄	回答数
１．はい	2
２．いいえ	0
無回答	1

問４　あなたは、屋内退避指示が発令された場合、どこで屋内退避を実施することになると思いますか？（ひとつに〇）

解答欄	回答数
１．自宅	24
２．原子力災害時の町指定避難所	13

今回のアンケートでは、９２%の方が、自分の世帯で自家用車を使用しており、自力で広域避難することが可能であることがわかりました。

また、自家用車を使用していない世帯の方についても、１名の無回答者を除き、広域避難時には、知り合いの車に乗り合って避難できることがわかりました。

屋内退避を実施する場所については、自家用車（自らの運転でなく、乗合の場合も含む）で広域避難することができるかどうかで変わってきます。

① 自家用車避難できる人　→　自宅での屋内退避
② 自家用車避難できない人　→　町指定避難所での屋内退避

アンケート結果を見ますと、今回の訓練参加者は、①にあてはまるため、屋内退避指示が発令された場合、自宅での屋内退避が原則となりますが、４割弱の方が、原子力災害時の町指定避難所で屋内退避する認識であることがわかりました。

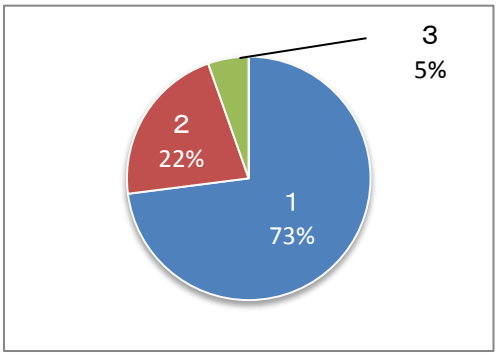
町では、原子力災害対応に関する知識の更なる啓発を図ってまいります。

②　情報伝達訓練についてお聞かせください。

問５　町からの情報は聞き取れました（受信しました）か？

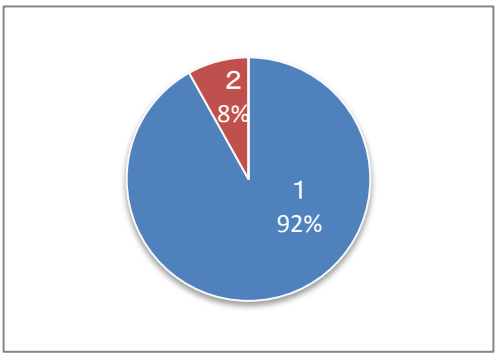
(1) 防災行政無線の屋外放送（ひとつに〇）

解答欄	回答数
１．聞き取れた	27
２．一部わからなかったが聞き取れた	8
３．聞き取れなかった	2
４．普段から聞こえない	0



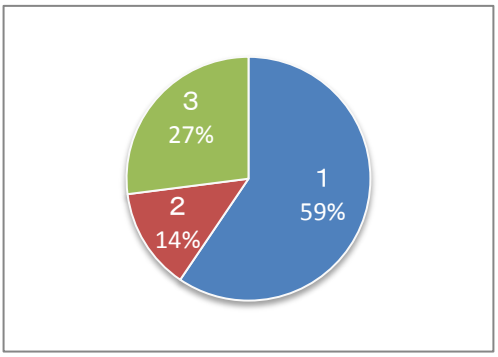
(2) 防災行政無線の戸別放送（ひとつに〇）

解答欄	回答数
１．聞き取れた	34
２．一部わからなかったが聞き取れた	3
３．聞き取れなかった	0
４．普段から聞こえない又は戸別受信機が設置されていない	0



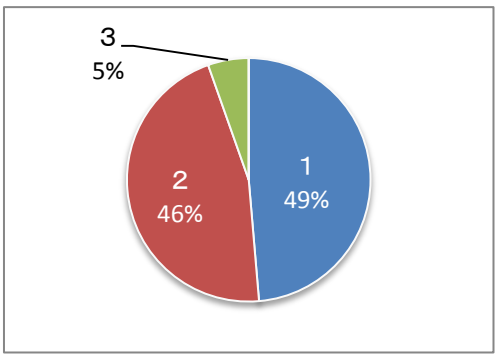
(3) 携帯電話（ひとつに〇）

解答欄	回答数
１．受信した	22
２．受信しなかった	5
３．携帯電話を持っていない	10



問６　情報の内容は理解しやすいものでしたか？（ひとつに〇）

解答欄	回答数
１．理解できた	18
２．だいたい理解できた	17
３．どちらともいえない	2
４．あまり理解できなかった	0
５．まったく理解できなかった	0



問７　情報伝達について、ご意見がありましたらご記入ください。

- 情報伝達はわかりやすく。例えば情報を連絡するだけか、又は、行動を起こすのかをはっきりしていただきたい。
- １回目の事故発生状況の放送の時に、町からの具体的指示は、次の２回目に放送すると明確にした方がよかった。
- 事前に連絡で聞いていたのでわかりやすかったけど、急に放送があっても気にしていないかもしれない。

・ 携帯電話のエリアメールの着信音が小さくて特徴のない音のため、非常に聞き取りにくい。

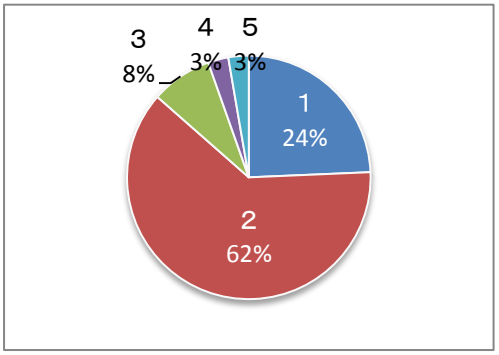
情報伝達については、防災行政無線（屋外・戸別受信機）により全員に伝達することができ、情報伝達を補完する携帯電話の緊急速報メールについても約７割の方に情報伝達することができました。
災害時の情報伝達には、防災行政無線の戸別受信機が必要不可欠であるため、各世帯に貸与されている戸別受信機の維持管理をお願いいたします。
また、伝達内容については、言い回しが適切でなく、具体的な指示がわかりづらかったため、伝達内容についてはいただいたご意見を参考に修正し、次回訓練において検証いたします。

③　原子力災害対策講座についてお聞かせください。

問８　講座内容について、それぞれ理解できましたか？

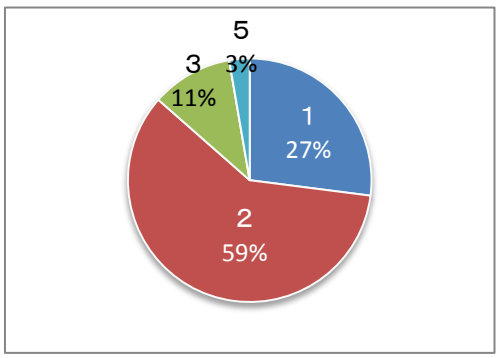
(1)　「放射性物質、放射能、放射線の違い」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
１．理解できた	9
２．だいたい理解できた	23
３．どちらともいえない	3
４．あまり理解できなかった	1
５．まったく理解できなかった又は覚えていない	1



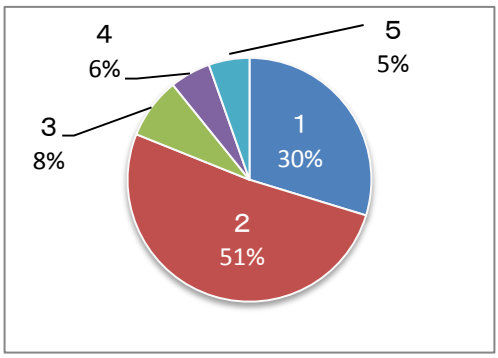
(2)　「日常生活にある放射線」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
１．理解できた	10
２．だいたい理解できた	22
３．どちらともいえない	4
４．あまり理解できなかった	0
５．まったく理解できなかった又は覚えていない	1



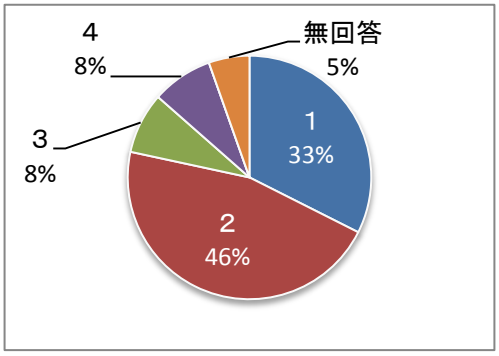
(3)　「原子力災害、内部被ばく、外部被ばく」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
１．理解できた	11
２．だいたい理解できた	19
３．どちらともいえない	3
４．あまり理解できなかった	2
５．まったく理解できなかった又は覚えていない	2



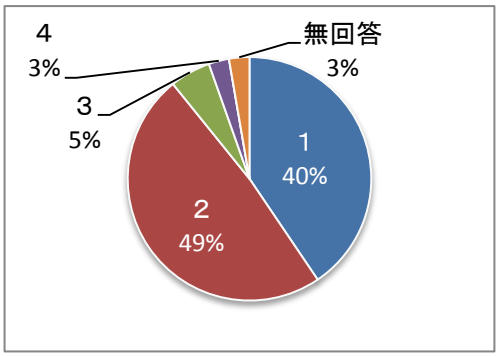
(4) 「本町における原子力災害時の対応」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
1．理解できた	12
2．だいたい理解できた	17
3．どちらともいえない	3
4．あまり理解できなかった	3
5．まったく理解できなかった又は覚えていない	0
無回答	2



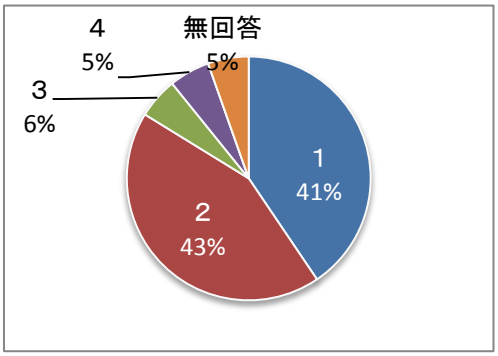
(5) 「原子力災害時の避難行動要支援者とは」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
1．理解できた	15
2．だいたい理解できた	18
3．どちらともいえない	2
4．あまり理解できなかった	1
5．まったく理解できなかった又は覚えていない	0
無回答	1



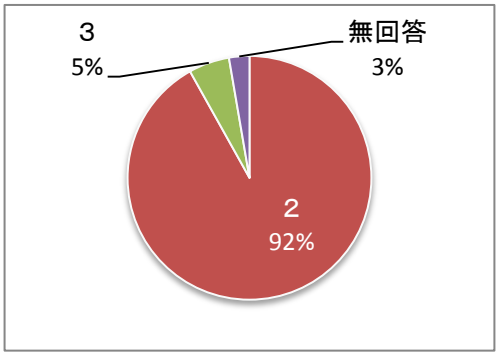
(6) 「避難行動要支援者への支援」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
1．理解できた	15
2．だいたい理解できた	16
3．どちらともいえない	2
4．あまり理解できなかった	2
5．まったく理解できなかった又は覚えていない	0
無回答	2



問９　講座の時間はどうでしたか？（ひとつに○）

解答欄	回答数
1．長い	0
2．普通	34
3．短い	2
無回答	1



問10　講座について、ご意見・ご感想などがありましたら下記にご記入ください。

- 無関心が多く残念である。実際に起きてからは遅いと思う。
- 原子力災害のシミュレーション（各種、軽微～最悪）で出雲崎がどうなるか、その場合、町民はどのように対応（行政も）したらよいか、具体的に説明を願う。
- 大変参考になった。
- 話だけでなく、映像を使っての講座であったので、わかりやすかった。

講座は、おおむねご理解いただいたようですが、屋内退避場所等周知が行き届かない部分もあるため、引き続き希望する地区に出向いて説明会を実施いたします。

④　避難が長期化すれば、住民の皆さんから避難所を運営していただくことになることから、今回、中学生を対象に避難所運営訓練を実施しました。避難所運営訓練についてお聞かせください。

問11　今後の訓練の参考になるご意見などがありましたら、ご記入ください。

- 対応がスムーズに行かないと住民は不安になる。
- 家でも手伝っているのか、気が付いて頑張ってくれました。
- 練度向上のため、反復の訓練が有効だと思います。
- ご苦労様でした。本番になったら今のようにスムーズに行くかは日頃の訓練が必要と思った。
- 避難所運営については、中学生に責任は、まだ未熟である。手伝いは積極的にやってもらうことは良い。
- とてもいいことだと思います。ありがとう。
- 中学生調理の豚汁の味は、大変美味だった。おいしくいただきました。ごちそうさまでした。
- 避難所受付時の記入用紙の文字が小さい。個別用紙にして工夫が必要ではないか。

実際に広域避難を実施することになれば、避難生活の長期化も考えられ、その際に中学生は、助けられる側でなく助ける側として、大人たちに混じって避難所運営に関わっていくことになりますので、中学生による訓練は、今後も継続して実施していく予定です。今後とも、よろしくお願いいたします。

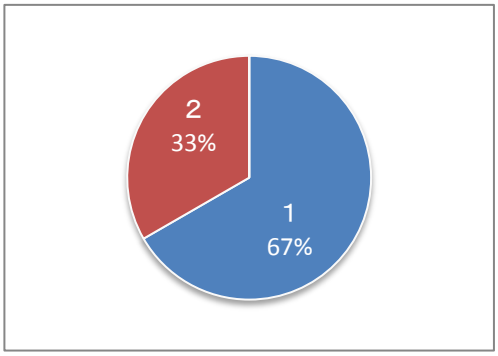
⑤　午後から実施した第２部普通救命講習についてお聞きします（参加者のみご回答お願いします）。

受講者５名　　回答３名　　回答率60%

問12　講習内容について、それぞれ理解できましたか？

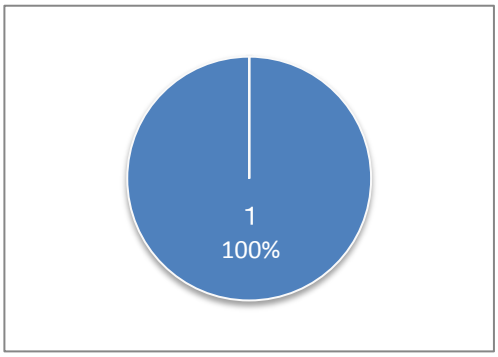
(1)「応急手当の基礎知識」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
１．理解できた	2
２．だいたい理解できた	1
３．どちらともいえない	0
４．あまり理解できなかった	0
５．まったく理解できなかった又は覚えていない	0



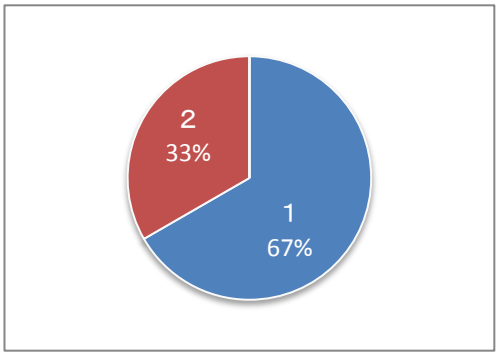
(2)「心肺蘇生法及びＡＥＤの取扱い」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
１．理解できた	3
２．だいたい理解できた	0
３．どちらともいえない	0
４．あまり理解できなかった	0
５．まったく理解できなかった又	0



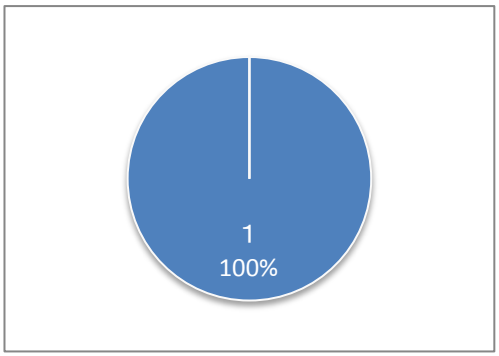
(3) 「異物除去及び回復体位」について（ひとつに○）

解答欄	回答数
1．理解できた	2
2．だいたい理解できた	1
3．どちらともいえない	0
4．あまり理解できなかった	0
5．まったく理解できなかった又	0



問13　講習はいかがでしたか？（ひとつに○）

解答欄	回答数
1．受けてよかった	3
2．どちらでもない	0
3．受けなくていい	0

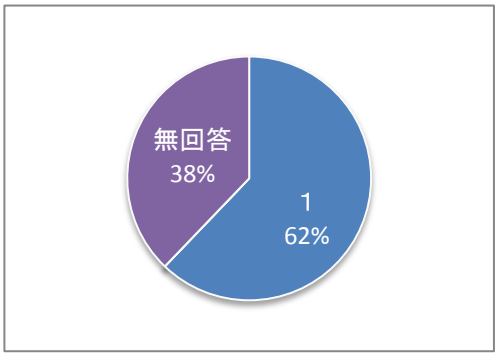


普通救命講習は、自分の身近な人でも起こり得る心肺停止時の対処法なので、受講者の増加が望まれます。消防署のほかに、町防災士を中心に結成した「出雲崎町防災士会」でも講習の実施が可能ですので、地区で受講を希望される場合は、町にご連絡ください。

④　防災訓練等についてお聞きします。

問14　今回のような防災訓練は必要だと思いますか？（ひとつに○）

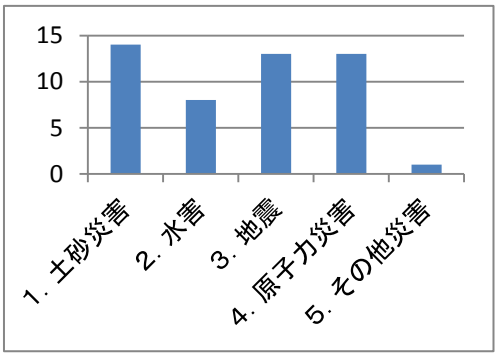
解答欄	回答数
1．思う	23
2．どちらでもない	0
3．思わない	0
無回答	14



問15　今後、どのような想定の訓練が必要だと思いますか？（該当箇所全てに○）

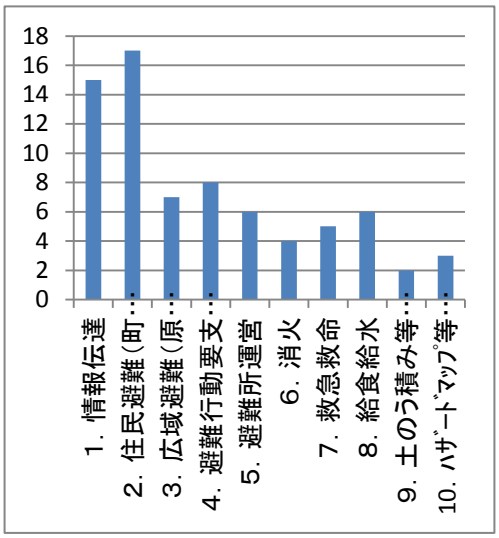
解答欄	回答数
1．土砂災害	14
2．水害	8
3．地震	13
4．原子力災害	13
5．その他災害	1

（その他意見）
火災、竜巻



問16　今後、どのような内容の訓練が必要だと思いますか？（該当箇所全てに〇）

解答欄	回答数
１．情報伝達	15
２．住民避難（町指定避難所ま	17
３．広域避難（原子力災害）	7
４．避難行動要支援者避難支援	8
５．避難所運営	6
６．消火	4
７．救急救命	5
８．給食給水	6
９．土のう積み等水防	2
10．ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟ等を活用した被害想定の図上	3



問17　町が実施する防災対策について、ご意見などがありましたらご記入ください。

- 防災対策訓練については、できるだけ、大勢の方から参加していただきたいが、せめて、区長、副区長は参加したらよいのではないかと思う。
- 避難する人が少ないので、参加者には避難グッズを配布するなど（非常食の配布含む）し、曜日も、土日等にしたほうが良いのでは。
- 停電になった時の情報伝達、夜の避難はどうすればよいか。
- 現況放送（仮想での）あるいは、今後の避難経路等についての訓練も必要と思う。

町では、原子力災害対応訓練だけでなく、さまざまな災害に対する訓練を、毎年度地区を替えて実施する予定です。
災害時、実際に避難することになる住民のみなさまが、どのような訓練を望まれているか、いただいたご意見を参考に次年度の計画に反映させていきます。
今後とも、防災訓練につきまして、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。